

新着図書案内

小倉高校図書館

2021年4月



子ども読書の日を知っていますか？



4月23日は《**子ども読書の日**》です。

スペインのカタルーニャ地方では、昔から4月23日は「サン・ジョルディの日」といって、男性は女性に薔薇の花を、女性は男性に本を贈るという習慣があります。

また、4月23日は『ドン・キホーテ』の作者のセルバンテスの命日でもあります。

このことを受け、4月23日は「世界本の日」になっています。

日本では2001年に衆参両院で4月23日が《**子ども読書の日**》に制定されました。

そして、4月23日から5月12日は《**こどもの読書週間**》です。

みなさんもこの機会に本を読んでみてはいかがでしょうか？

小倉高校図書館でも、様々な本を用意してお待ちしています。

〈文学〉

蒼海館の殺人/阿津川辰海



学校に来なくなった「名探偵」の葛城に会うため、僕はY村の蒼海館を訪れた。名士ばかりの葛城の家族に明るく歓待され夜を迎えるが、激しい雨が降り続く中、連続殺人の幕が上がる！人気急上昇中の著者によるクロードサークルミステリ。本格推理小説が読みたい人におすすめです。

不可逆少年/五十嵐律人



若き家庭裁判所調査官・瀬良真昼。どんな少年も見捨てない。そう決めて彼らと向き合ってきたはずだった。しかし、ある少女が犯した凄惨な殺人事件を目の当たりにして、信念は大きく揺らぐ。不可解なことに、被害者は全員同じ高校に縁のある人々で…。現役弁護士が描く、圧巻のリーガルミステリ。

月まで三キロ/伊与原新



「月は1年に3.8センチずつ、地球から離れていってるんですよ」。死に場所を探してタクシーに乗った男を、運転手が山奥へと誘う表題作他、科学のきらめきが人の想いを結びつける短篇集。科学が苦手な人にも文学が苦手な人にも読んでもらいたい1冊。

あずかりやさん/大山淳子



1日100円で何でもあずかってくれる風変わりなお店「あずかりやさん」。店を訪れる客たちは、様々な事情を抱えて店を訪れる。ちょっと不思議で、切なく心温まる物語です。

羊は安らかに草を食み / 宇佐美まこと

アイと富士子は、20 年来の友人で、認知症を患っている益恵を旅に連れ出すことにした。それは益恵がかつて暮らした土地を巡る旅。満州からの引揚者だった益恵は、いかにして敗戦の苛酷を生き延び、今日の平穏を得たのか。彼女が隠しつづけてきた秘密とは？旅の果て、益恵がこれまで見せたことのない感情を露わにした時、彼女たちの運命は急転する—。

かか / 宇佐見りん



19 歳の浪人生うーちゃんは、大好きな母親「かか」のことで切実に悩んでいる。かかは離婚を機に徐々に心を病み、酒を飲んで暴れることを繰り返すようになった。鍵をかけたちいさな SNS の空間だけが、うーちゃんの心をなぐさめる。脆い母、身勝手な父、女性に生まれたこと、血縁で繋がる家族という単位…自分を縛るすべてが恨めしく、縛られる自分が何より歯がゆいうーちゃん。彼女はある無謀な祈りを抱え、熊野へと旅立つ—。『推し、燃ゆ』で第 164 回芥川賞を受賞した著者の鮮烈なデビュー作。

灰の劇場 / 恩田陸



きっかけは「私」が小説家としてデビューした頃に遡る。それは、ごくごく短い記事だった。一緒に暮らしていた女性 2 人が橋から飛び降りて、自殺をしたというものである。様々な「なぜ」が私の脳裏を駆け巡った。しかし当時、私は記事を切り取っておかなかった。その記事は、私の中で長年棘として刺さったままとなっていたのだが、ある日、担当編集者が記事のコピーを差し出してきて…。次第に私の日常は、2 人の女性の「人生」に侵食されていく—。

月曜日が、死んだ。 / 新馬場新



週始めの朝。目覚しのアラームが鳴り、会社に行きたくないと思いながらスマホの画面を確認する。そこに表示されていたのは「火曜日」の文字。飛び起きたナカガキがカレンダーを見ると、そこにあるべきはずの月曜日が消えていた！？世界中が混乱する中、ナカガキたち 5 人が立ち上がる！

美少年探偵団 きみだけに光かがやく暗黒星

/ 西尾維新

個性溢れる 5 人の美少年が謎を解く探偵活劇！

あの日、君は何をした / まさきとしか



北関東で暮らす主婦の水野いづみ。平凡ながら幸せな彼女の生活は、息子の大樹が連続殺人事件の容疑者に間違われて事故死したことによって一変する。大樹が深夜に家を抜け出したのはなぜなのか。15 年後、新宿区で若い女性が殺害され、重要参考人である不倫相手の百井辰彦が行方不明にある。無関心な妻の野々子に苛立ちながら、母親の智恵は必死で辰彦を捜し出そうとする。捜査に当たる刑事の三ツ矢は、無関係に見える 2 つの事件をつなぐ鍵を見つけ…。親子の絆と闇を描いた長編ミステリ。

友達以上探偵未満 / 麻耶雄嵩



忍者と芭蕉の故郷、伊賀市の高校に通う伊賀ももと上野あおは、地元の謎解きイベントで殺人事件に巻き込まれる。探偵好きの 2 人は、ももの直観力とあおの論理力を生かし事件を推理していくが…。女子高生探偵 2 人のキュートで切れ味鋭い、真剣推理勝負！

満月珈琲店の星詠み / 望月麻衣



満月の夜にだけ現れる不思議な喫茶店「満月珈琲店」を訪れるのは、スランプ中のシナリオライター、不倫未遂のディレクター、恋する IT 起業家。極上のスイーツと猫のマスターによる星詠みが、彼らの心をほどいていく…。美しいイラストと優しい物語にほっと癒されてください。

アルジェリア、シャラ通りの小さな書店

/ カウテル・アティミ



1936 年、21 歳の若さで書店「真の富」を開業し、自らの名を冠した出版社を起こしてアルベール・カミュを世に送り出した男、エドモン・シャルロ。第二次大戦とアルジェリア独立戦争のうねりに翻弄された、実在の出版人の人生を叙情豊かに描き出す。

あの本は読まれているか/ラーラ・フレスコット



冷戦下のアメリカ。ロシア移民の娘であるイリーナは、CIAにタイピストとして雇われるが、実はスパイの才能を見込まれており、訓練を受けてある特殊作戦に抜擢される。その作戦の目的は、反体制的だと見なされ、共産圏で禁書となっているボリス・パステルナークの小説『ドクトル・ジバゴ』をソ連国民の手に渡し、言論統制や検閲で迫害を行っているソ連の現状を知らしめることだった。果たして、1冊の小説は、世界を変えられるのか？

〈継続購入図書〉

麦本三步の好きなもの第二集/住野よる

ソードアート・オンラインフログレッシュ7/川原礫

異修羅4/珪素

錆喰いビスコ7/徳久保慎司

鬼人幻燈抄 明治編夏宵蜜気楼/中西モトオ

はじまりの24時間書店/ロビン・スローン

ちはやふる46/末次由紀

応天の門14/灰原薬

〈哲学〉

その悩み、エピクテトスなら、こう言うね。

/吉川浩満・山本貴光



奴隷の子として生まれ、やがて解放され、哲学の教師になった、ローマの大賢人エピクテトス。その言行録『人生談義』でエピクテトスは、弟子や来訪者から寄せられた数々の人生相談に、的確な答えを繰り出していく。悩める現代人にも十分通用するその教えを、とことん分かりやすく解説した本。

〈社会〉

コロナ対策 各国リーダーたちの通信簿/栗田路子

未曾有のパンデミックに世界がのみ込まれ、各国は感染抑止のため、軒並みロックダウンを実施。多くの国が似たような対策を行ってきた。一方で、各国首脳の言動には大きな違いがあった。無根拠な楽観論を振りかざす首脳もいれば、市民の連帯を促した首脳もいた。コロナのパンデミックが炙り出した、各国のリーダーの姿とは？

〈自然科学〉

面白くて眠れなくなる植物学/稲垣栄洋

人間は自分たちこそが万物の霊長なのだと信じている。しかし、もしかするとすべては植物の思惑どおりなのかもしれない。自然の営みも人間の営みも、植物たちに仕組まれたことなのかもしれない…。大人気「眠れなくなる」シリーズ最新刊。

絶滅どうぶつ図鑑/めまがさワタリ



ウワ〜ッと驚く「なんてこった」な絶滅どうぶつ秘話満載。ゲラゲラ笑いながら読めるが、「人間って、どうぶつ殺しすぎ…」と恐ろしい気持ちにもなるかも。面白くて、どうぶつの知識が増えて、環境意識も高まる、とってお得な1冊！

〈英語〉

自分を励ます英語名言101/小池直己・佐藤誠司

新しいことに挑戦したい、困難を乗り越えたい、そんな時に自分に勇気を与えてくれる先人たちの言葉。心に刺さる様々な名言に触れながら、自然に英文法の知識を学べる英語名言集。

〈芸術〉

マンガでわかる落語/春風亭昇吉

芝浜、目黒のさんま、明烏などの古典落語50演目をマンガで紹介。

マンガで教養やさしい日本絵画/山下裕二・監修



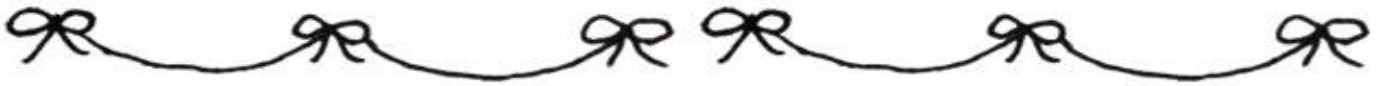
マンガとイラストで、日本絵画を時代別に分かりやすく解説する入門書。飛鳥・奈良・平安時代から大正・昭和前期まで、時代ごとの代表作とともに、その画家のエピソードも豊富に紹介。日本の名画を楽しむための見方やコツが満載。

イラスト映えBOOK/田村桂一・山口真理子



イラストが映えない、アイデアが浮かばないなど、絵を描くときに必ず直面する悩みを劇的に解決する、65の小さなコツを紹介する。

表紙画像：e-honより



図書館の本は、最後まで読まなくてもいい。

読むぞ！と思って借りたのに、読んでみたら何か違う…というとき。

そんなときは無理して最後まで読まなくてもいいんです。

途中でやめちゃってOK。罪悪感を覚える必要もありません。

だってそれは、その本が「今のあなた」に合わなかった、それだけのことだから。

残念ながら、誰にとっても面白くて役に立つ本というものはありません。

人はそれぞれ異なる考え方と個性を持っているのだから、当然ですね。

あなたが手に取ったその本が、あなたに読書の喜びを与えてくれないなら、

そんな本に時間を使うことはありません。さっさと図書館に返却しましょう。

だけどどうか諦めないで、もう1度別の本を選んでみてください。

図書館には、あなたには合わない本もあります。

でも、今のあなたにぴったりの、あなたの為の本も必ずあります。

たまたま友達に勧められた本が、何気なく図書館で手に取った本が、

先生が話していた本が、以前は途中で読むのをやめた本が、

あなたにとって大切な、忘れられない1冊になるかもしれません。

図書館では、あなたがあなたの為の本に出会えるよう、

今年度も様々な活動を行っていきます。

どうぞよろしくお願いします。

